

「PF ニュース」からのお知らせ

平成 24 年度の PF-UA の発足に伴い、PF ニュースはウェブが主体となりましたが、引き続き冊子版も発行し、ご愛読を賜り感謝致します。今後も新しい企画記事の連載など誌面の充実につとめ、PF ニュースをより魅力あるものにしていきます。PF ニュースウェブページには、冊子版では白黒となっている図等もオリジナルのカラーのものを掲載しています。ウェブ版もお楽しみ頂ければと思います。

ウェブ掲載時にはメールでお知らせするシステムも運用しています。希望される方は、どうぞ登録下さい。PF ニュースウェブページにフォームを掲載しています。

PF ニュース編集委員一同

投稿のお願い

【最近の研究から】

PF で行われた実験、研究の成果をお寄せ下さい。

【建設・改造ビームラインを使って】

特にビームラインの改良点、他のビームラインとの比較、要望等を是非お聞かせ下さい。

【ユーザーとスタッフの広場】

PF での実験の成果等が認められ受賞された方、海外放射光施設に滞在、訪問された方、国際会議等に参加された方、修士論文等、どうぞ投稿下さい。また PF に対するご意見等がありましたら是非ご投書下さい。

詳細は事務局または PF ニュース HP をご覧下さい。

宛 先

〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1
高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所 放射光実験施設内
PF ニュース編集委員会事務局
TEL : 029-879-6196 FAX : 029-864-2801
Email : pf-news@pfqst.kek.jp
URL : <https://www2.kek.jp/imss/pf/pfnews/>

編集後記

関東地方が梅雨入りした 6 月から 30°C を超える猛暑となり、この編集後記を執筆している 7 月においては静岡の気温が 40°C に達するなど、年々、猛暑の開始日や最高気温の記録が更新されているとのニュースを目にしています。晩春に梅雨入りし、じめじめした日々を過ごし、梅雨が明けると共にかんかん照りの夏が訪れる従来の日本の季節の流れが変わってきているように感じます。世界を見渡してみれば昨年に川や湖の水が干上がるほどの猛暑・干ばつがあり、今年になってから豪雨による水害や大型台風が発生するなど、世界中が異常気象に見舞われているようです。このような異常気象には、地球温暖化が強く関係していると考えられていますが、昨今では地軸のブレにも影響を及ぼしている可能性を示す研究報告もあるそうで、壮大なスケールの観察や研究なのだろうと想像しています。身近な気象については空に浮かぶ雲の形状や彩雲などを観察できます。残念ながら、見上げた空から地軸のブレのような壮大なスケールの現象は観察できませんが、上空の風の状況、水滴や氷の粒の状態など、大気の多彩な物理現象を知ることができます。空を見上げるたびに、壮大なスケールの観察や研究ではなくても、自らが観察している現象を一つ一つ丁寧に研究していきたいと思うこの頃です。(T.H.)

* 2024 年度 PF ニュース編集委員 *

委員長	小澤 健一	物質構造科学研究所		
副委員長	高橋 真	JFE テクノリサーチ株式会社		
委員	宇佐美徳子	物質構造科学研究所	川端 庸平	酪農学園大学 農食環境学群
	熊井 玲児	物質構造科学研究所	佐賀山 基	物質構造科学研究所
	鈴木真粧子	群馬大学 大学院理工学府	高木 宏之	加速器研究施設
	武田 崇仁	広島大学 先進理工系科学研究科	永田 隆平	東京大学 大学院理学系研究科
	長谷川慎吾	横浜国立大学 大学院工学研究院	引田 理英	物質構造科学研究所
	平川 力	産業技術総合研究所	山下 翔平	物質構造科学研究所
	山根 峻	東北大学 金属材料研究所	和田 健	物質構造科学研究所
事務局	高橋 良美	物質構造科学研究所		
	加世田 薫	物質構造科学研究所		